九州地区LPガス業界特集

総合エネ事業者への転身

――現在、LPガス業界をとりまく諸課題の多さ、とくに販業者の間を悩ませている「一元化官邸」ではないが、九州地区のあるべき業界像とは、どのようなものだとお考えですか。

寺崎　太陽ガスをはじめとする九州地区の販業者は、経済面、人材面ともに比較的恵まれているのではないでしょうか。その分、販業者間の競争が激しいという一面もありますが、全国的にみれば、九州地区は比較的安定した地域だと思います。

和泉　寺崎さんから「安定」という言葉がでましたが、今年の1月3日の日本経済新聞に、「動かない九州」という記事が掲載されました。そこには、我が国経済、あるいは全国の住宅着工数などが軒並み減少傾向にあるなか、九州地区は増加の傾向にあるという内容が書かれていました。この記事を読んだ時、私は「九州、東京ガス、東邦ガスの統合等の再編にスポットがあたっているなか、九州地区は取り残されているのではないか」という危惧を抱いていました。

寺崎　たしかに、「動かない九州」という記事は、私も読みました。ただ、私は、九州地区は、LPガス業界にとって、決して悪い地区ではないと思っています。

和泉　それは、LPガスという商品を取り巻く諸課題の多さ、とくに販業者の間を悩ませている「一元化官邸」ではないが、九州地区のあるべき業界像とは、どのようなものだとお考えですか。

寺崎　太陽ガスをはじめとする九州地区の販業者は、経済面、人材面ともに比較的恵まれているのではないでしょうか。その分、販業者間の競争が激しいという一面もありますが、全国的にみれば、九州地区は比較的安定した地域だと思います。

和泉　寺崎さんから「安定」という言葉がでましたが、今年の1月3日の日本経済新聞に、「動かない九州」という記事が掲載されました。そこには、我が国経済、あるいは全国の住宅着工数などが軒並み減少傾向にあるなか、九州地区は増加の傾向にあるという内容が書かれていました。この記事を読んだ時、私は「九州、東京ガス、東邦ガスの統合等の再編にスポットがあたっているなか、九州地区は取り残されているのではないか」という危惧を抱いていました。

寺崎　たしかに、「動かない九州」という記事は、私も読みました。ただ、私は、九州地区は、LPガス業界にとって、決して悪い地区ではないと思っています。

和泉　それは、LPガスという商品を取り巻く諸課題の多さ、とくに販業者の間を悩ませている「一元化官邸」ではないが、九州地区のあるべき業界像とは、どのようなものだとお考えですか。

寺崎　太陽ガスをはじめとする九州地区の販業者は、経済面、人材面ともに比較的恵まれているのではないでしょうか。その分、販業者間の競争が激しいという一面もありますが、全国的にみれば、九州地区は比較的安定した地域だと思います。

和泉　寺崎さんから「安定」という言葉がでましたが、今年の1月3日の日本経済新聞に、「動かない九州」という記事が掲載されました。そこには、我が国経済、あるいは全国の住宅着工数などが軒並み減少傾向にあるなか、九州地区は増加の傾向にあるという内容が書かれていました。この記事を読んだ時、私は「九州、東京ガス、東邦ガスの統合等の再編にスポットがあたっているなか、九州地区は取り残されているのではないか」という危惧を抱いていました。

寺崎　たしかに、「動かない九州」という記事は、私も読みました。ただ、私は、九州地区は、LPガス業界にとって、決して悪い地区ではないと思っています。

特別鼎談　寺崎和典氏　九州ブロックLPガス協議会会長
和泉光信氏　和泉プロパン社長
益田裕樹氏　大和プロパン社長

LPガスの立ち位置はあるか

〝提案力〟の底上げ必要　寺崎氏
太陽光設置は〝信頼〟で　和泉氏
人とのつながりに〝価値〟　益田氏

エネファームで体質改善

――業界が今後進んでいかなければならない課題と、エネファームが浮かびます。

寺崎　私もそう思います。とくにLPGからの脱却を1社1台提案」には、全国の販売店の皆さまには厳しい数字を持って取り組んでいただきたい、九州ブロックでも、積極的に設置を呼び掛けていきたい、今この瞬間の設置台数は、約2000台ですが、これを2020年までに5万台まで引き上げる目標を設定しました。

和泉　寺崎さんの話にもありましたが、エネファームは、既存のLPガス消費者に、電気を創り出すことができる画期的な機器であり、メーカーと一緒に販売していきたいと考えています。